

福島県の春まきタマネギ栽培に適する品種

福島県農業総合センター 浜地域研究所

1 部門名

野菜－タマネギ－品種比較

2 担当者名

大越聡、門田敦生

3 要旨

福島県における春まきタマネギの主要品種は「もみじ3号」であるが、単一品種では収穫作業が一時期に集中するため、作付面積拡大の大きな障害となっている。そこで、水田転換畑において目標収量 5t/10a が得られ、「もみじ3号」と7月中の収穫期分散が可能で、腐敗球率 5%以下となる品種を選定した結果、「ターザン」と「ハッピー501」が有望であった。

- (1) 1月中旬播種、3月下旬定植の春まきタマネギ栽培において、「ターザン」と「ハッピー501」は、2018 現地試験と 2019 所内試験の結果、「もみじ3号」よりも収穫日が6～10日早く、収穫時の腐敗球率が5%以下であり、また規格内収量合計は「もみじ3号」と同等であった。
- (2) 秋まきタマネギや春まきの「もみじ3号」と収穫作業の競合なしにタマネギの作付面積拡大が可能である。

表1 福島県におけるタマネギの作型

作型	品種名	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
秋まき	ターザン	→												■			○			→			▽			→											
	もみじ3号 他	→												○			→			▽			→			→											
春まき	ターザン	○	→		▽	→		■																													
	ハッピー501	○	→		▽	→		■																													
	もみじ3号	○	→		▽	→		■																													

註) ○：播種、▽：定植、■：収穫

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成 29 年度～令和元年度
- (2) 研究課題名 水田経営へのタマネギ等高収益野菜の導入による収益向上の実証
〔革新的技術開発・緊急展開事業〕

5 主な参考文献・資料

- (1) 平成 27 年度普及成果「浜通りでの 7 月収穫を目指した春まきタマネギ栽培」(福島県農業総合センター浜地域研究所)

※本研究は、農研機構生研支援センター「革新的技術開発・緊急展開事業(うち経営体強化プロジェクト)」の支援を受けて実施した。